

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和7年11月28日発行

No.9

合唱祭で何を得たか

生徒会担当 田口 祐弥

この度、秋晴れの佳き日に開催されました本校の合唱祭は、心に響く素晴らしい歌声が学舎に満ち溢れ、心温まる素敵なものとなりました。当日は、多くの保護者の皆様に足をお運びいただき、生徒の努力の成果を共有できましたことを、心より喜ばしく存じます。

この舞台裏には、限られた練習回数の中で、各学級が選んだ一曲と真摯に向き合い、仲間と協力して粘り強く練習を重ねた生徒の姿がありました。そして、その活動を支えてくださった御家庭の存在があったからこそ、この生徒の努力の成果が結実したのだと思います。

指揮者や伴奏者、パートリーダーを担った生徒たちは、集団を導く責任と難しさを肌で感じながらも、試行錯誤を重ねて練習を進めてきました。時には意見がぶつかり、立ち止まることもあったと思いますが、仲間の協力を得ながら課題を乗り越える中で、仲間の支えのありがたさを深く実感し、大きく成長したのではないかでしょうか。

リーダー以外の生徒たちも、地道な練習を繰り返し、前向きな姿勢で取り組むことで学級のよい雰囲気を醸成しました。大きな声で歌う生徒、正確な音程で歌う生徒、リーダーを補助する生徒。それぞれが自分の強みを生かして集団の一員としての自分の役割を見いだし、集団に貢献することを通して、互いのよさや仲間と協働することの価値を実感したことでしょう。

学校での活動の裏では、御家庭での時間を使って、夏休み前から楽譜を読み、練習に情熱を注ぎこんできた生徒もいることと思います。保護者の皆様には、長期間にわたり、お子様の努力する姿を温かく見守り、支えていただきましたことに深く感謝申し上げます。その支えがあったからこそ、生徒たちは学校で一心に頑張り抜くことができました。

最終的には、それぞれの持ち場での懸命な努力と、様々な人の協力が一つとなり、当日の素晴らしい合唱として結実したのだと思います。生徒たちの歌声から、これまでの努力の積み重ねを感じ、心から感動しました。やはり、人の声には人の心を揺さぶる力があるのだと改めて実感し、会場にいるすべての人と、歌のもつ普遍的なよさを共有できたのではないかと思います。

現代社会では、多様化が進む中で、互いの強みを理解し、それを発揮し、組織の一員としてチームの発展に貢献することが求められます。さらに、チームを支える「ファン」、応援する存在の重要性も忘れてはなりません。チームのパフォーマンスがファンの力となり、ファンの力がチーム一人一人の力となる、好循環を生む営みがあり、社

会や経済、人々の生活を豊かにするものであると考えています。合唱祭という行事は、この社会の営みの一端を、生徒たちが深く経験できる貴重な場となったと思うのです。

生徒たちは、合唱祭を通して、自分や相手の強みは何か、仲間は何か、集団の力とは何かを考える貴重なきっかけを得たのではないかでしょうか。この努力の成果と培われた経験を今後の教育活動に生かすべく、生徒たちの更なる成長を全力で支えて参ります。



結びに、生徒たちの活動を温かく見守り、本校の合唱祭の取組に御理解と御協力を賜り、保護者の皆様に改めて深く感謝申し上げます。今後とも、本校の教育活動に御理解と御協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

■PTA 常務委員会の活動から

10月にはPTA文化委員の皆様の企画によるPTA文化講演会が開催されました。春先から文化委員の皆様が御準備くださいました。今年度は給食試食会と合わせての実施となり、当日は多くの保護者の方に御参加いただき、大変活気あふれる様子がうかがえました。また、PTA広報委員の皆様に作成していただいた「PTA広報だより」が発行されました。紙面のデザインや生徒の様子の撮影のために、何度も来ていただきました。両常務委員の皆様、紙面を借りて心より感謝申し上げます。今号では、PTA文化委員長の畠山賀奈子様と、PTA広報委員長の比嘉夏実様からいただいた、行事を終えての御感想を紹介させていただきます。

「PTA 文化講演会」を終えて

PTA 文化委員長 畠山 賀奈子

日頃より文化委員会の活動に御理解と御協力をいただきまして、ありがとうございます。



文化委員会では、給食交流会・文化講演会の企画、準備、運営をいたしました。今年度は初めて給食交流会を企画し、おいしい給食を食べながら保護者同士の親睦を深めていただく場となるよう、10月15日に講演会と併せて開催いたしました。

講演会の講師は本校校長、菅原利晃先生にお願いし「国語の教科書から学ぶ親子の関係～『源氏物語』を中心に～」というテーマで御講演していただきました。古典と聞くと難し



そうな印象もありますが、菅原校長のお人柄が伝わる自己紹介や小学校の教科書を使用したグループワークなど、学生時代に戻ったような楽しく和やかな講演会となりました。

講師の菅原校長をはじめ、担当の室永先生、文化委員の皆様、そして参加してくださいました保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

広報活動を通して伝えられること

P T A 広報委員長 比嘉 夏実



十月発行の「広報だより」はお楽しみいただけたでしょうか。今年度は試みにインターネット印刷を利用した広報誌発行に挑戦しております。従来の美しい印刷には及びませんが、「広報だより」のカラー化・ページ増加ができたので、沢山の写真やミニ取材などで学校の様子を生き生きと伝える事を目指しました。

生徒活動の取材を通して実感したのは、先生方はサポートに徹し、干渉しないということです。従って各活動を成功させるには、生徒一人一人が主体的に参加し、皆で協力する必要があり、また予定通り進めるためには自律的態度で臨む必要がある訳です。附中生の皆さんはごく自然にそうしており、取材の度に感心しつつ、その様子を少しでもお伝えできればと考えております。

またふじのめ学級の取材では、生徒の皆さんのが学年を超えてお互いをリスペクトし合う姿に感銘を受けました。普段知る機会の少ないふじのめ学級の活動をお伝えできることを嬉しく思っております。

後期も引き続きよろしくお願ひ致します。

■学校評価アンケートへの御協力ありがとうございました。

過日、実施しました学校評価アンケートへの御協力ありがとうございました。結果を集計したところ、19項目中、肯定的回答の割合（「1とくにそう思う」もしくは「2 そう思う」で回答した割合）がほとんどの項目で90%を超えており、多くの保護者が学校運営や教育活動に肯定的な評価を示してくださっていることがうかがえます。肯定的な回答の割合がとくに高かった項目は以下になります。

教育方針をわかりやすく伝えている(98.8%)

附属中の授業は教師が一方的に教え込むのではなく、学び合いを大切にしている(97.6%)

附属中の行事は子どもたちが生き生きと活動するように工夫されている(96.5%)

本校の教育方針が保護者の皆様に適切に伝わっていることがうかがえます。また、授業や学校行事においては、教師が一方的に教え込むのではなく、生徒同士の「学び合い」や生徒が主体的に活動する教育が高く評価されていると考えます。

その一方で相対的に評価がやや低かった項目は以下の通りです。

自分の子どもは学校や学級の一員として楽しく生活している。(90.0%)

附属中に通わせてよかったですと思う(91.8%)

自分の子どもの成績や学習面での努力や成果が適切に評価されている(93.5%)

これらは依然として高い水準ではあるものの、学校生活全般への満足度や評価の公平性などに、今後の改善の余地があることを示唆しています。今後もこれらの課題をふまえた改善を計画・実行していきたいと考えます。

また、いただいた主な御意見・御要望を紹介いたします。

【評価できるポイント1】

生徒の自主性・主体性を育む学びの環境

「生徒の個性を大切にして関わってくれており自主性が育っているのが伝わってくる」「学び合いを重視した授業になっている」との声から、「学び」や「学び合い」、また、総合的な学習を中心とした生徒が自ら考え、行動する点が保護者にも伝わっていると考えます。

【評価できるポイント2】

行事や特別活動の工夫

「合唱がいつも鳥肌がたつほど美しい」「学校祭や委員会などの縦割り活動が充実している」「授業や行事が成長につながる工夫がされている」との保護者の声から、行事や特別活動においても生徒の主体性や探究しながら学ぶ姿勢を重視している点が伝わっていると考えます。

【改善を要すると思われるポイント1】

夏の暑さ対策に関する改善

「全教室へのエアコン設置を早急に進めてほしい」「ジャージ登校期間を延長してほしい」という声が依然として多いことがわかります。今年度は理科室にふじづる会の寄付でエアコンをつけていただきました。さらに、ジャージ登校についても今後検討の余地があると考えます。暑さ対策への対応は今後も工夫凝らして継続的に対応をしていきます。

【改善を要すると思われるポイント2】

学力の定着と学習評価について

「探究活動が多いのはいいと思うが、基礎学力や知識が未熟なうちは、まとめがぼんやりしてしまう」「基礎力が身に付いていないと感じる」という御意見から確実な学力の定着と生徒の主体性を重視した指導のバランスを改善していく必要を感じます。また学習評価については公平性と透明性について、今後もさらなる丁寧な対応が必要と考えます。

このような御意見一つ一つに皆様の期待と改善してほしいことへの熱い思いを感じました。

なお、現在、ジャージ登校については、「体育の授業がある際はジャージ登校を可とする」としております。これは生徒の意見を踏まえたうえで実施したものです。このような生徒、保護者の皆様からの意見を踏まえ、改善できることはすぐに検討しているところです。

今後も、生徒はもちろんのこと、教師、保護者、地域・社会の人々が有機的につながり、「子どもの学びの姿」を中心に互いに高まり合っていくという「共創の学校」の理念を引き続き大切にして参ります。いただいた全ての御意見を真摯に受け止め、学校改善につなげ、附属札幌中学校がより魅力ある学校になるよう尽力して参りますので、引き続き御理解と御協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

■第1・2学年・授業参観・学年・学級PTA懇談会が行われました。

11月21日(金)に第1学年、第2学年の授業参観と学年・学級PTA懇談会が行われました。授業参観では、多くの方に学校に足を運んでいただき、お子様の授業に向かう様子を見ていただきました。また、学年PTA懇談会では、藤華祭や合唱祭などの取組の様子や日々の学校生活、学習や進路についてお伝えさせていただきました。なお、totoruでも御案内しましたが、学年懇談会の様子を動画で配信しております。ぜひ御視聴ください。

■第3学年 「リレーとバトン」～総合的な学習の時間

第3学年の総合的な学習の時間「リレイト」では、SDGsの視点から「現代の社会問題」について各自が課題を立て、アンケート調査や施設訪問などの調査活動を行い、課題解決の方法を探ってきました。今年度は生徒の負担を考えて例年実施していた土曜日の開催から変更し、平日の11月26日（水）の午後に実施いたしました。生徒が各教室に分かれてその探究の成果を保護者の方に伝え、様々な御意見をいただきました。平日にもかかわらず保護者、教員合わせて60名以上の方に御参加いただき、生徒と大人が現代の社会問題について議論を交わす大変有意義な時間となりました。生徒は、改めて自分の課題と向かい、深く考える機会となったようです。多くの方に御参加いただき、生徒一人一人の一年間の探究に向けて貴重な御意見をくださいましたこと、心より感謝申し上げます。



12月の行事予定



日付	曜日	行事等の予定	下校バス時刻 (予定)
1	月	3年進路懇談①	14:10
2	火	3年進路懇談②	14:10
3	水	3年進路懇談③/【研究日】	14:10
4	木	3年進路懇談④	14:10
5	金	会場設営(2年生)	【1・3年】12:50 【2年】14:10
6	土	入学者選考2次 1日目/部活動不可	
7	日	入学者選考2次 2日目/部活動不可	
8	月	入学者選考に関わる休業日/部活動不可	
9	火	入学者選考に関わる休業日/部活動不可	
10	水		16:20
11	木	3年生スポーツフェスティバル 1・2年・帰り学活 15分延長(QU検査)	16:20
12	金	2年FW	16:20
13	土	部活動不可	
14	日	部活動不可	
15	月		16:20
16	火		16:20
17	水	2年生スポーツフェスティバル/【研究日】	16:10
18	木	1年生スポーツフェスティバル	16:20
19	金	D組給食交流(全学年)/冬季休業前集会 3年後期期末テスト範囲表配付/学びのシラバス記入	15:20
20	土	冬季休業開始(～1/8)	
21	日		
22	月	12月1日(月)～5日(金)は入学者選考、3学年進路業務等があるため午前授業となります。また12月は、本校の入学者選考があるため、部活動はありません。冬季休業期間中も部活動はありません。1月の部活動の予定は、12月中旬に掲載いたします。御確認ください。	
23	火		
24	水		
25	木		
26	金		
27	土		
28	日		
29	月	学校閉庁日(～1/4)	
30	火		
31	水		